

令和6年第10回定例会会議録要旨

◆ 出席委員 荒木幸一 海老原千浩 山本憲一 陶山光秀

◆ 欠席委員 日高まり子

◆ 出席職員（事務局） 桑畑武美 尾上光 馬乗園寛子

◆ 会議録署名委員指名 海老原千浩

◆ 議案 なし

◆ 教育長報告要旨（10月1日～10月31日行事結果）

○10月11日（金）学校支援訪問（本庄中）

○10月13日（日）小学校運動会

○10月19日（土）～20日（日）第41回総合町民祭

○10月25日（金）市町村教育委員会連合会理事会

令和7年度教育施策に対する要望に関する意見交換会

宮崎縣市町村教育委員会連合会研究大会

○10月28日（月）学校支援訪問（本庄小）

○10月30日（水）宮崎地区社会教育委員連絡協議会研修会

第2回学校給食運営委員会

教育長 私からの報告は以上です。委員の皆様から運動会の感想をお願いします。

教育委員 木脇小学校の運動会に参加しました。今年は、学校運営委員の方や区長さんにも声をかけていただいて、来賓が多くて嬉しく感じました。地域の方に見ていただくことが大切だと思いました。運動会では子ども達がとても機敏に動いていて、役員の子どもだけではなくて、トイレ休憩などでも走って移動するなど、全学年が機敏な動きで気持ち良かったです。上級生が常に低学年の子たちに声を掛けて指示を出している姿も良かったです。運動会の内容は特に変わっていなかったのですが、6年生の頑張りには感動しました。

教育委員 八代小学校の運動会に参加させていただきました。子ども達はのびのびと競技していましたし、PTAの競技もあって、保護者の方々も楽しそうに参加していました。プログラムもタイムスケジュールどおりに運営されていたので、準備の段階から相当な練習をされていたのかなと感じました。保護者と先生との良い関係もできているんだろうなと思いました。すごく良い運動会でした。

教育委員 森永小学校に参加して、去年までは少し物足りないなと感じていたのですが、今年は半日でも良い運動会だったなと思いました。もう少し競技を増やしたり、改善できる部分もあるのかなとは思いました。

教育委員 本庄小学校に行かせていただきました。今年は来賓が多くて、にぎやかで楽しい雰囲気でした。観客席の保護者が子どもの出番に合わせて競技ごとに入れ替わっていく形で、去年よりも入れ替わりがスムーズだったと思います。特別な支援が必要な子どもに対する支援のやり方が上手くできていない部分も見られましたが、これから先生方に支援のやり方などを研修等で学んでいただけたらいいのかなと思いました。ただ、全体的には子ども達が一生懸命動いている運動会だったと思います。

教育長 私も全部の学校をまわりましたが、委員さんの感想にありましたとおり、区の役員さんや祖父母など多くの人に来ていて、半日開催ではありますが、コロナ前の様子に戻ってきたなと感じました。プログラムの内容など改善の余地はありますが、校長先生に伝えたいと思います。委員の皆様ありがとうございました。続きまして、学校支援訪問が2校行われました。委員の皆様から感想をお願いします。

教育委員 本庄中の学校支援訪問に行きましたが、とても落ち着いて授業を受けていたと思います。先生も生徒に寄り添っていて、教材研究をされているなと感じました。心配しているICTあたりがどうなのかなとは思いましたが、これから先生方が研究されていくのかなと思います。3年生のクラス数が減ったため教室の中がいっぱい、廊下から参観するような状態でした。社会を生き抜くために自立自走できる児童生徒の育成というところを、先生方が学習し指導過程の工夫をあげていて、午後の研究会ではいろいろな協議がされたのだと思います。これから中心的中学校として頑張りたいなと思いました。

教育委員 本庄小の学校訪問に行かせていただきました。子ども達が元気に私たちを出迎えてくれました。授業内容についてなのですが、本庄小は1学年に1学級、特別支援学級があって、それぞれの子どもの合った支援ができる環境が整っているので、教員不足の中で、とても有難い環境だなと感じました。先生がそれぞれの子どもの合った授業をされていたので勉強になりました。大きな学校になるとタブレットを一斉に使うことができないようで、Wi-Fi環境についてこれから考えていく必要があるという話を聞きました。大きな学校でもタブレットを自由に使える環境が整うといいのかなと思いました。それぞれの先生のカラーに合ったクラスができていて、先生はとても一生懸命指導されていたので、これからの本庄小に頑張っていたけるといいなと思いました。

教育長 ありがとうございました。今お話にありましたが、タブレットを一斉に使うとフリーズしてしまうということがあります。来年に向けてネットワーク環境の改善を

考えていかないといけないなと思います。１０月２５日に市町村教育委員会連合会の理事会、県との意見交換会、午後には研究大会がありました。意見交換会で出された意見などご紹介いただけますか。

教育委員 ベテランの方々の中で、勉強できる機会でした。県への要望のまず１つが教職員の人材確保、２つ目が教職員の働き方改革、３つ目が不登校対策、４つ目が特別支援教育についてだったのですが、２つ目以降は教職員が確保されないとできないことで、まずは教職員の人材確保が大切なのかなと感じました。どの学校も早期退職をされる先生がいて、なかなか人材確保ができていないということで県に要望を出したのですが、県も模索しながら頑張っているようで、ただ現状は厳しい状況にあるようでした。子ども達が、将来こんな先生になりたいと思うためには、先生たちがいきいきと笑顔で頑張っている姿をみれば、子ども達が目標にするのではないかと思うのですが、現状、人材確保ができていないために先生たちに余裕がなくて、子ども達と向き合える時間も少ないので、子ども達が先生たち忙しそうだなと感じることで、教師が夢のある仕事だととらえられにくいのではないかと思います。メディアが教師の仕事がブラックだと配信してしまうと、ブラックな仕事だというイメージを持たれてしまうので、先生という仕事はとても意味のある仕事だとアピールしてくれないと、教職員になりたいという夢を持つ子どもが減ってしまうので、その部分を考えてメディアには配信して欲しいなと感じました。今後、大きな課題となる人材確保についてですが、本庄小学校に支援訪問に行った際、特別支援教室が充実していたのを見て、とても有難い環境であると実感したところでした。

教育長 ありがとうございます。県内全体で教員が足りていない状況のようです。幸い国富町は教職員が足りているので有難いことです。そして午後は研究大会が行われました。研究大会での感想をお願いします。

教育委員 研究大会に参加させていただきました。事例発表は、串間市と門川町の教育長が発表されました。串間市は中学校が１校に統合し、小学校もいくつか再編したということでした。歴史のある中での統合はとても苦労が多かったようで、県立高校の福島高校とつながっていく、小中高連携を一生懸命取り組んでいるということでした。どうしても児童生徒数が少なくなっているのが、将来の子ども達の数を見据えながらやっていかないといけないのですが、廃校になった校舎をどうしていくか、校舎の活用も考えていく必要があるようでした。門川町では、門川高校などと連携しながらの防災についてのお話でした。海が近いので、下校途中などにもし何か災害があった時に備えて、高校生と協力しながら、自分で考えて行動できる力を身に付けさせるための訓練をしているようでした。引き渡し訓練なども行われているので、訓練の大切さを感じながら聞かせていただきました。講演は教育長の教え子である宮崎大学の境先生がお話しされました。宮崎大学の教授になられて２年目くらいだったかと思います。不登校や引きこもりを専門に研究されてる先生で、不登

校の子どもの居場所づくりがとても大切であるということでした。不登校の子の居場所を校内に設置する取り組みを宮崎市が行っていて、そのような場を校内に作ることに意味があって、小中学生の段階で社会と繋がることで引きこもり対策をしていく必要があると思います。居場所は学校でなくてもよくて、そのためにネットワークづくりも大切で、そうするとやはりコミュニティスクールも重要になってくるので、地域づくりが必要不可欠だろうなと思いました。とても勉強になる研究大会でした。

教育長 ありがとうございました。串間市の学校再編の話がありましたが、串間市は県境にあるので、他のところから子どもが入ってこないようで、串間の子どもを逃がさないように取り組んでいるようですが、それでも5割の子どもは日南や鹿児島に出て行ってます。中学校を1つにして福島高校との連携を図っているのですが、それでも5割は出ていくのでなかなか厳しいようです。ありがとうございました。

教育長 それでは続きまして「その他（１）行事予定について」ご説明をお願いします。

◆その他

◇各課行事予定に基づき説明

教育長 ご質問等はありませんか。ないようですので、これで定例教育委員会を終わります。

（閉会午後３時５６分）